

ノリ養殖環境速報 KH-30-3 (播磨灘)

平成 30 年 11 月 22 日 発行

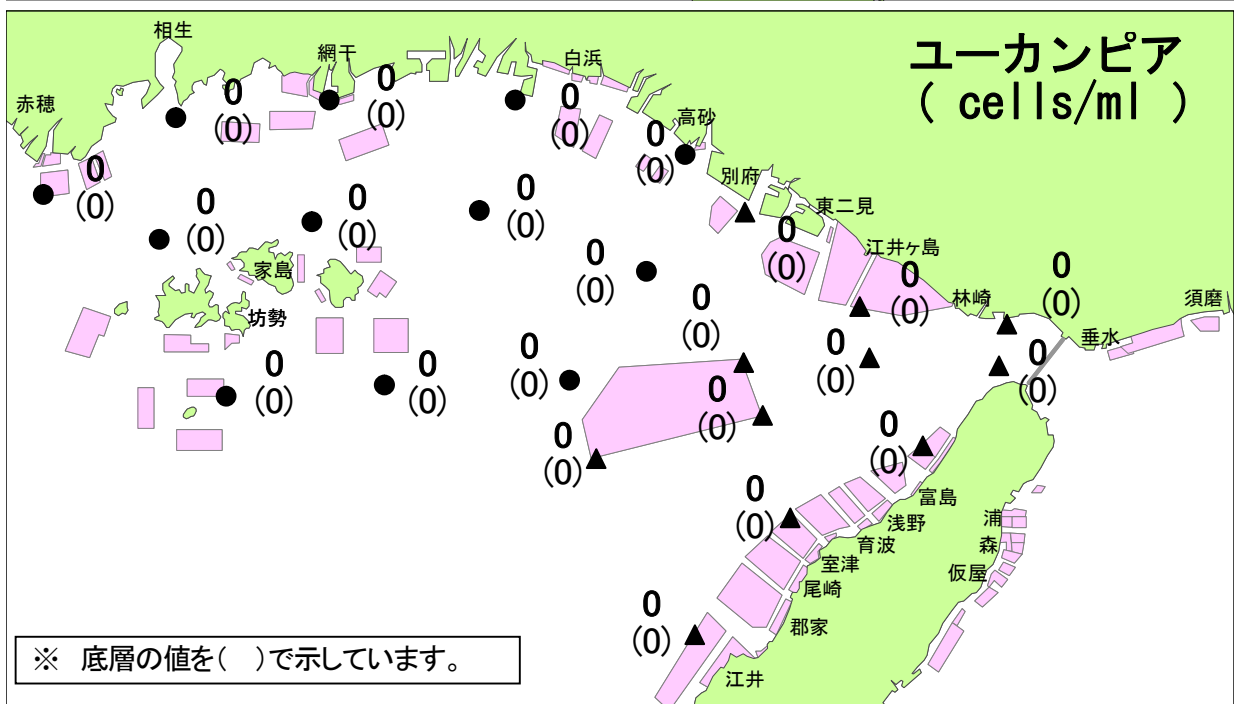
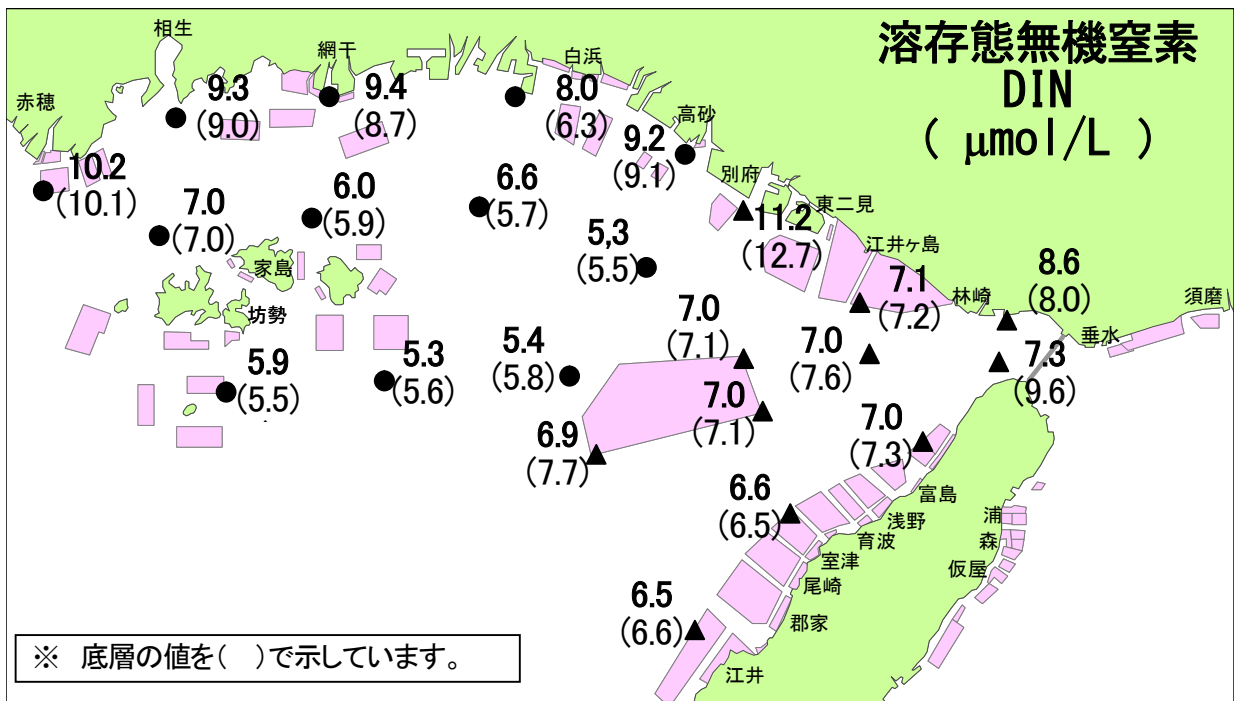
調査年月日：平成 30 年 11 月 21 日

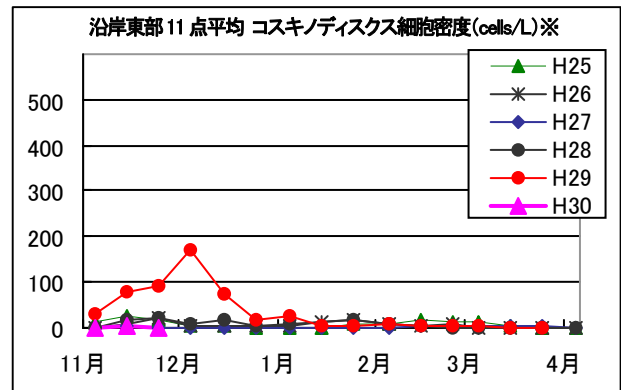
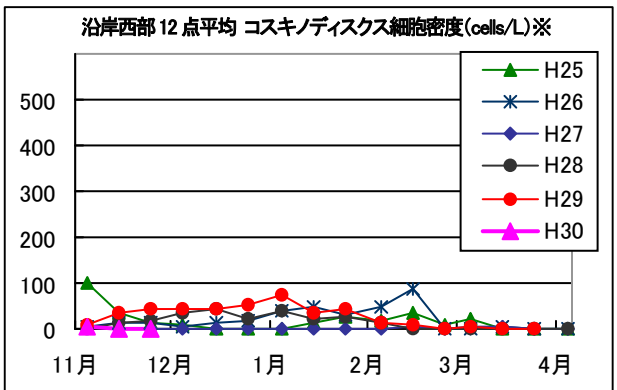
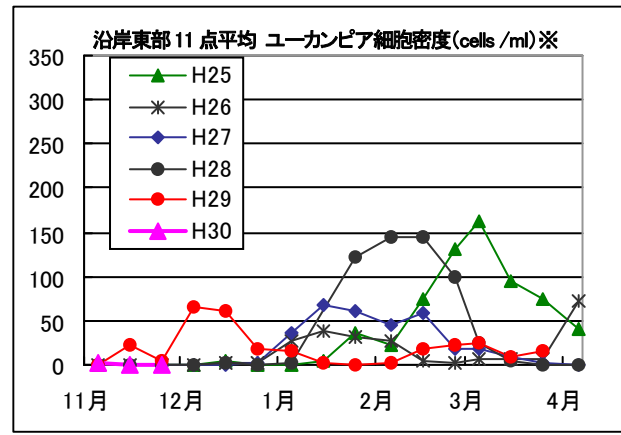
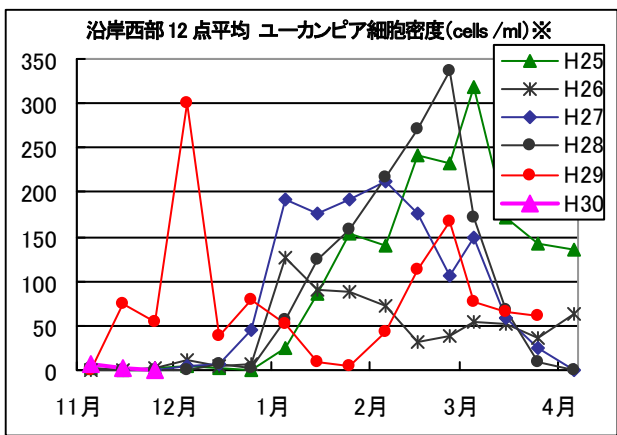
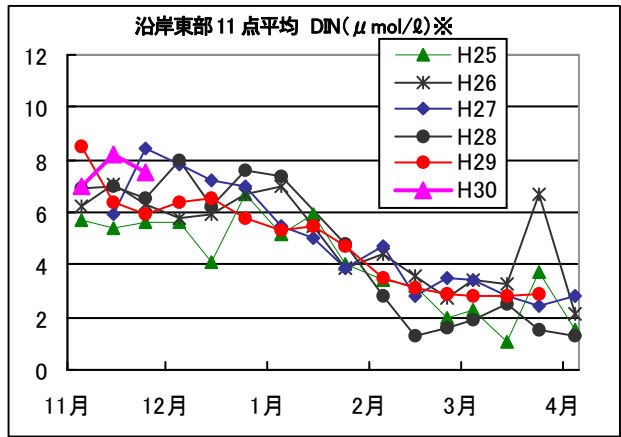
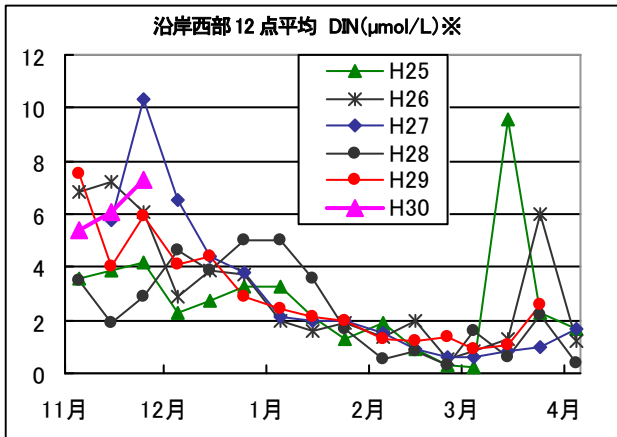
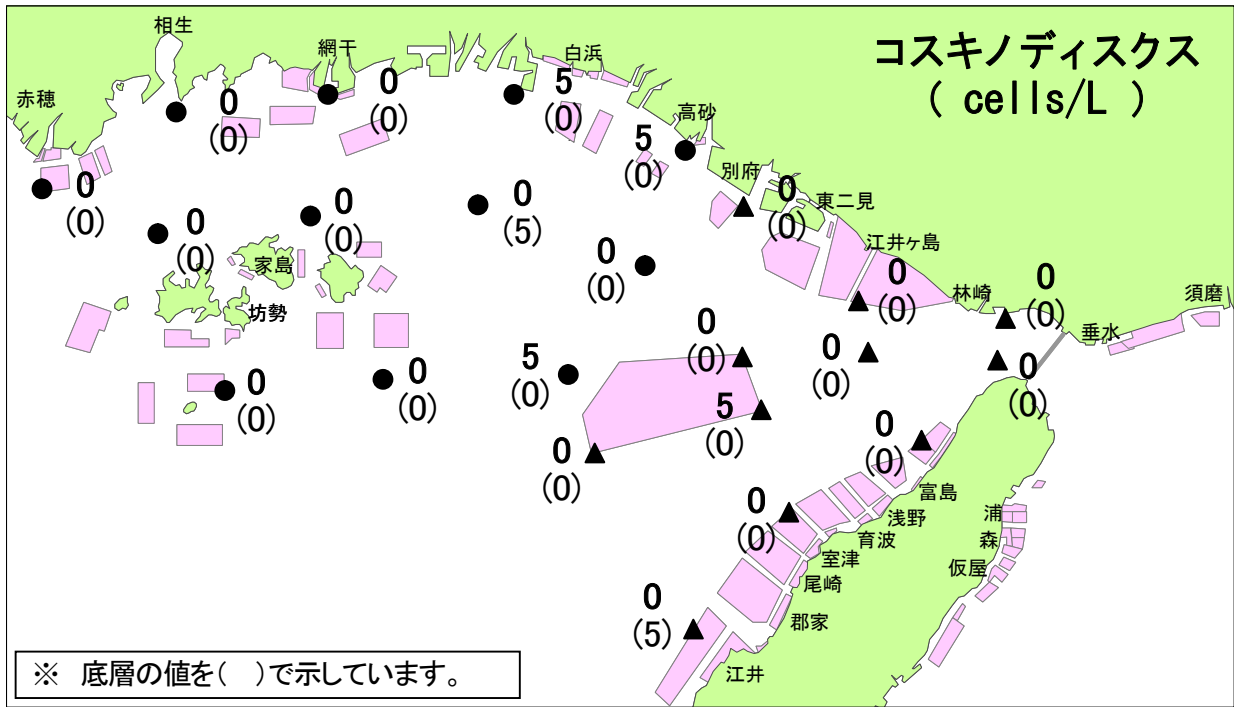
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘 (調査海域) の DIN 濃度は、5~10 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは確認されていますが、数は少ない状況です。

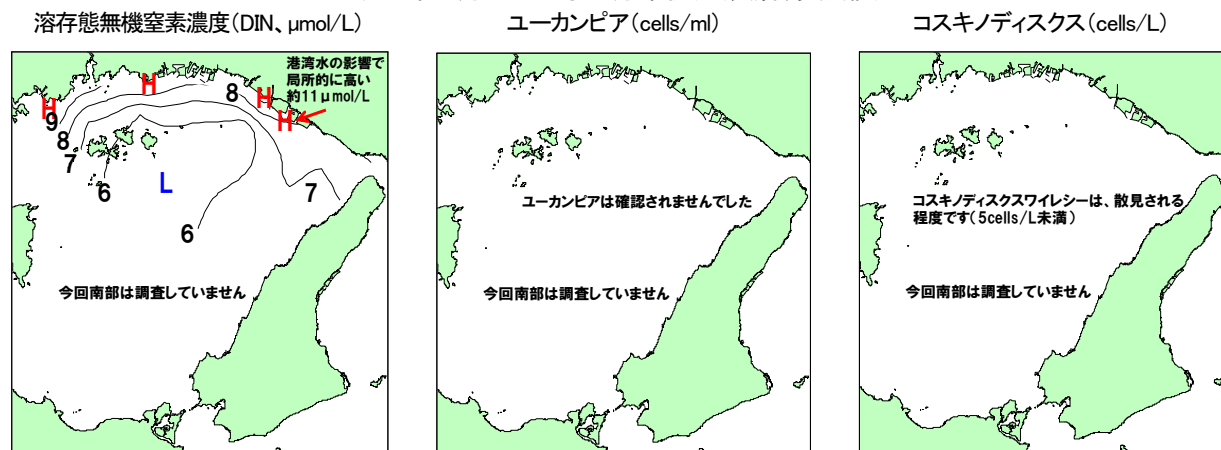
水温は、白浜以西では 17.8~19.3 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では 18.8~19.7 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で 18.8~19.3 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では 19.2~19.5 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では 19.3 $^{\circ}\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年11月21日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層の DIN 濃度は概ね $5\sim 10\mu\text{mol/L}$ でした。全般に植物プランクトンの発生量は少ない状況です。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは、ごくわずかに確認される程度、ユーカンピアは確認されませんでした。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁 11月21日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間 (11/22~11/28) の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の降る日が多いでしょう。

最高気温は、明後日 (23日) にかけて平年より低く、その後は平年並か平年より高いでしょう。最低気温は、平年並か平年より高い見込みです。

降水量は、平年並でしょう。

その他の情報

- ・岡山県の調査 (11/15) では、牛窓沿岸の DIN 濃度 (表層) は $10.8\sim 10.9\mu\text{mol/L}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは $0\sim 10\text{cells/L}$ 、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位 : $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度 (上・中・下旬) の発行を予定しています。
 - ・次回は平成30年12月3日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。

<http://www.hyogo-suigi.jp/>